岡崎市立大樹寺小学校　校長室だより　令和４年７月２７日（水）　第１２号

大樹のこころ

教員の夏休み

夏休み、いかがお過ごしでしょうか。私たち教職員は、夏休み中も基本的に「勤務」となります。子供たちが長期休業中ですので、授業はありません。ですから、この期間に日頃はできない校内環境整備をしたり、各種研修を受けたりして力量向上に努めています。

研修の一環として「不審者対応訓練」を実施しました。市の防犯交通安全課の方と県警のスクールサポーターを講師にお招きして、不審者が校内に侵入した場合を想定し、教員の対応の仕方を学びました。子供たちは不在でしたが、不審者を取り押さえ、子供が避難完了するまでの一連の流れを実際に行いました。本番さながらの緊張感のある訓練となりました。訓練後に安全課の方とスクールサポーターからのご指導を受けました。ともかく勉強になったのは「不審者をいかに追い込んでいくか」ということです。むやみに不審者を取り押さえようとすると、教員の身が危ないとのこと。さす股を上手に活用しながら、不審者の自由を奪っていく方法を教えていただきました。学校で一番大切なことは「子供の命を守ること」です。不審者対応が生かされる機会がないことを願うばかりですが、もしもの時には研修で学んだことを生かし、子供たちを守っていきたいと思います。

また、校内の環境整備も進めています。本校は来年度から２年間、校舎の改築を行います。改築対象は中校舎。令和５年度の３学期から令和６年度にかけての工事。仮校舎を体育館横に建て、そこに職員室や普通教室が移動します。空になった教室を改築していき、完成したら仮校舎から新しい校舎に戻ることになります。ここで問題となるのが「荷物」です。現在、校舎内には様々なものが置かれています。これらを移動させなければいけません。これが大作業。少しでも移動物を減らそうと、夏休み中に仕分けを行っています。普通教室以外の部屋を覗いてみると、不要と思われるものがたくさん出てきます。それらを思い切って廃棄する作業を行っています。

研修で忘れてならないのが「授業」です。教員にとって一番大切なことは「楽しく分かる授業」を行うこと。自分が授業者となり、先生方が子供役となっての模擬授業を実施しました。授業の展開の在り方を学ぶと同時に、先生方は子供がどんな気持ちで授業を受けているのかを体験していきました。２学期の授業で生かされることを期待しています。大樹寺小の先生方は、夏休みも子供たちのために頑張っているのです。